

講義名	国際会計論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	孫 美良		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限	授業形態	
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 福祉マネジメントコース / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービス心理コース / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 スポーツ健康マネジメント / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービスマーケティング / 2014年度 サービス産業学部		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

この授業は、会計基準はなぜ必要なのか、国際会計基準はなぜ必要なのか、各国が国際会計基準を導入する動機は何か、各国がどのような方法で国際会計基準を導入しているのか、国際会計基準の導入は企業にどのような影響を与えたのかといった国際会計基準に関する素朴な疑問について解説する形で進める予定です。本講義は国際会計基準を逐一説明するのが目的ではありません。会計基準の国際化を通じて、企業活動の国際化について考えるきっかけを提供するのが目的です。

到達目標

国際会計基準に関する基本概念が習得できるとともに、会計基準における国際化を様々な視点から観察することによって企業活動の国際化とは何かについて、深く考えることができます。

提出課題

ほぼ毎回の講義で課題の提出を求めます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

課題提出後は解答を配布します。講義資料の中に明確な解答がある場合は、配布しません。

評価の基準

平常点50%、定期試験50%の割合で評価を行います。

注：以上は平常時の評価方法です。2020年度後期も新型コロナウイルスによるオンライン講義が続く場合、講義中新しい評価方法をお知らせします。

履修にあたっての注意・助言他

簿記や会計の基礎知識を持っていて、会計に興味のある学生を対象とします。

教科書

プリント資料及び参考文献

<教科書>
指定テキストはございません。講義中、資料を配布します。

<参考図書>
橋本 尚・山田善隆著『IFRS会計学基本テキスト（第6版）』、中央経済社、2018年。

授業計画

第1回 企業活動のグローバル化と会計基準
第2回 企業活動のグローバル化と会計基準
第3回 企業活動のグローバル化と会計基準
第4回 制度の標準化と国際会計基準の導入
第5回 制度の標準化と国際会計基準の導入
第6回 制度の標準化と国際会計基準の導入
第7回 各国における国際会計基準の導入
第8回 各国における国際会計基準の導入
第9回 各国における国際会計基準の導入
第10回 国際会計基準の特徴
第11回 国際会計基準の特徴
第12回 国際会計基準の特徴
第13回 国際会計基準の特徴
第14回 国際会計基準の特徴
第15回 総括

注：以上は平常時の計画です。2020年度後期も新型コロナウイルスによるオンライン講義が続く場合、講義中新しい講義計画をお知らせします。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
 イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
 ウ：ディスカッション、ディベート
 エ：グループワーク
 オ：プレゼンテーション
 カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

指定テキストがなく、講義中資料を配布するので予習は必要ありませんが、復習は必要です。1コマあたり約1時間の復習を心掛けてください。普段の復習を怠ると、定期試験直前の全体復習をする際より多くの時間を費やす必要があります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義中、教員からの質問に対し自らの考え方を整理し、発言する機会はほぼ毎回あります。ICTは利用しません。

実務経験の有無及び活用

実務経験があります。
実務経験が本講義の内容と直接関連するわけではないが、受講生に刺激になると思われるエピソードがある場合は適宜紹介していきたいと思います。

備考